

アジア太平洋地域での気候正義に基づいた 1.5度目標達成に向けた調査・提言活動

活動地域  アジア太平洋

ひろげる助成

1年目

調査研究

気候変動連続ウェビナー **250人**

アジア太平洋地域での
気候正義研修 **5回**

今年度計画の達成度 **66%**

目標達成度 **16%**



アジア太平洋地域での気候正義研修の様子

活動内容と成果

2020年度は新型コロナウイルスの影響によるCOP26の延期に伴い、国際交渉に関連する活動は十分に実施できなかった。しかし、新型コロナウイルス禍においても、アジア太平洋地域の若者を対象とした研修プログラムをオンラインで実施し、6か国から約30人の参加者とともに5回実施することができた。気候変動による損失と被害及び気候正義の普及啓発という活動についても、外部講演は8回実施し、延べ140人ほどが参加、また企画した連続ウェビナーでも全5回で250人が参加した。



気候被害を話す気候変動連続ウェビナーにて

課題

1.5度目標達成及び途上国での気候変動被害対策が「当該支援策に途上国の声が反映されておらず」「先進国による途上国への適切な支援」となっていない。

目標

1.5度目標達成のため、先進国及び途上国の温室効果ガス排出削減目標が気候正義の考え方に基づいたもので引き上げられる。

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルスによって国際会議などの大きな予定変更が重なり、計画通りに進められなかった。

■工夫した点

イベントやセミナーのオンライン移行。直接対面での実施が難しいからこそ、回数を増やしたり広く呼び掛けたりした。



今後の
展望

2021年度も新型コロナウイルスの猛威が続くが、気候変動も待たなしの状況である。昨年度の反省をいかし、オンラインとオフラインを適切に組み合わせて、アジア太平洋地域での気候正義運動を支援したい。

〒173-0037
東京都板橋区小茂根1-21-9
電話：03-6909-5983
E-mail：info@foejapan.org
HP：https://www.foejapan.org/

